

ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	一般社団法人舞多聞エコ倶楽部		
団体の所在地	神戸市垂水区	代表者名	塩月 仁

1. 事業名	舞多聞の人と自然との触れ合い活動・人と人の絆を紡ぐ活動
2. 実施期間	平成 28年 5月 から平成 28年 10月
3. 主な実施場所	神戸市垂水区学園南緑地、舞多聞まちづくり館
4. 活動形態	・実践活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>1 舞多聞ネイチャーアート テーマ 「カスミサンショウウオがアートになる！」 神戸芸術工科大学との協働で、参加者が学園南緑地に生息する絶滅危惧のカスミサンショウウオを観察し、スケッチした。そのスケッチをもとに、神戸芸術工科大学の大学生たちが行灯と影絵を制作し、6月に光の祭典「方丈行灯祭」を実施した。 実施日 平成 28年 5月 28日 場所 舞多聞まちづくり館、学園南緑地 参加人員 50人 講師 神戸芸術工科大学 谷口 准教授、同大学の学生</p> <p>2 光の祭典「方丈行灯祭」竹行灯づくりとヘイケボタル観賞会 テーマ「里地里山と人とのつながり」 ネイチャーアートで参加者がスケッチしたカスミサンショウウオをもとに、神戸芸術工科大学の大学生たちが行灯と影絵を制作し、その影絵を方丈行灯に飾りつけ、行灯は周りに設置した。また、参加者が地域の孟宗竹を活用し、竹行灯を制作し、同じく、方丈行灯の周りに設置した。また、使用済みてんぷら油でつくったエコローソクを竹行灯の中に入れて点灯した。その後、学園南緑地のため池に生息するヘイケボタルを鑑賞した。 実施日 平成 28年 6月 18日 場所 舞多聞まちづくり館、学園南緑地 参加人員 73人</p> <p>3 生物多様性に関するワークショップ テーマ「水生生物」 絶滅危惧のメダカ、コオイムシ等の水生生物を学園南緑地、三ツ池川親水エリアで採取、観察した。また、人工飼育しているヘイケボタルの幼虫等を観察した。生物多様性の保全活動等に関する学習を通じて、こどもたちに川と自然の大切さを啓発した。 実施日 平成 28年 7月 23日 場所 舞多聞まちづくり館、三ツ池川親水エリア 参加人員 22人</p> <p>4 写真展及び活動のドキュメンテーション紹介 テーマ 「舞多聞の人と自然との触れ合い活動・人と人の絆を紡ぐ活動」 写真展及び活動のドキュメンテーション紹介を実施し、入選作品で平成 29年の舞多聞エコカレンダー(舞多聞の人と自然との触れ合い・人と人の絆を紡ぐ)を制作し、後日、参加者に配布した。 実施日 平成 28年 10月 16日 場所 舞多聞まちづくり館 参加人員 111人</p>
6. 成果・反響・反省点等	<p>1 舞多聞ネイチャーアート 「カスミサンショウウオがアートになる！」及び光の祭典「方丈行灯祭」竹行灯づくりとヘイケボタル観賞会等のワークショップに取り組んだことで、カスミサンショウウオを地域のシンボルとして位置づけることができた。また、絶滅危惧等の貴重野生動植物を保全・保護する活動を啓発することができた。</p> <p>2 水生生物の観察やヘイケボタルの観察等、生物多様性の保全に関するワークショップ等の取り組みにより、また、地域の里山の竹を活用して竹行灯を制作すること等を通じて、多様な生き物を育ててきた身近な里地里山の管理の大切さについても啓発することができた。今後、舞多聞地域に生息する絶滅危惧等貴重野生動植物の保全・保護活動、生物多様性の保全活動への参加が期待できる。</p>
7. 成果物	なし
8. 活動写真説明	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>カスミサンショウウオがアートになる！</p> </div> </div>